

(別記)

2019年度平取町農業協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、全耕地面積に占める主食用米の面積の割合が約25%で、転作作物に占める飼料作物が多く、主に町内の畜産農家に供給されている。また、振興品目であるトマトの面積も増加しており、転作田の有効的活用による水田農業の振興と経営安定化の基幹作物として重要な位置を占めている。

しかし、農家の高齢化が進み、農家戸数の減少が見られる中で、水田面積の維持が課題となっている。

2 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

良質・良食味米品種の作付維持や高品質米出荷率80%以上を目指し、作業の共同組織化や省力化を図りながら、「売れる米づくり」を目指す。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

主食用米の需要減が見込まれる中、産地交付金を活用し、農業者が蓄積してきた栽培技術や既存農業機械を活用できる飼料用米の生産拡大を図る。

イ 米粉用米

取組予定なし

ウ 新市場開拓用米

取組予定なし

エ WCS用稲

取組予定なし

オ 加工用米

主食用米の需要減が見込まれる中、産地交付金を活用し、農業者が蓄積してきた栽培技術や既存農業機械を活用できる加工用米の生産拡大を図る。

カ 備蓄米

取組予定なし

(3) 飼料作物

牧草の新植助成、更新助成を継続し、面積を拡大しながら良質な牧草を維持し、生産性の向上を図る。

(4) そば、なたね

取組予定なし

(5) 麦、大豆、てん菜

連作障害を防止するため、今後も輪作を継続し、作付面積の維持を図る。

(6) 小豆

地域振興作物のひとつとして、継続して助成していきながら現状の作付面積の維持を図る。

(7) 高収益作物（園芸作物等）

トマトについては、「びらとりトマト」のブランドを確立していくため、今後も重点振興作物として作付推進を図る。

また、トマトハウスを有効活用し、トマトの裏作でのキュウリ及び寒締めほうれん草の作付推進を図る。

その他の野菜についても地域の振興作物として、作付面積の維持を図る。

(8) 利用権設定加算対象作物

担い手農家の規模拡大、農地集積の推進を図る。

(9) 不作付地の解消

現行の不作付地については、主に育苗ハウス等として活用している。今後も不作付地を出さないよう作付推進を図る。

(10) 耕畜連携

耕種農家と畜産農家が連携することにより、安定した経営の維持を図る。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	494.42	484.42	474.42
飼料用米		0.1	0.2
米粉用米			
新市場開拓用米			
WCS用稲			
加工用米	0	4.6	4.7
備蓄米			
麦	2,708.20	2,708.20	2,708.20
大豆	4,046.40	4,046.40	4,046.40
てん菜	1,354.30	1,354.30	1,354.30
小豆	0.22	0.22	0.22
飼料作物	1,197.37	1,207.37	1,217.37
そば			
なたね			
その他地域振興作物			
野菜	82.93	83.26	83.66
きゅうり(裏作)	4.93	5.0	5.2
花き	0.31	0.32	0.32

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	目標	
				前年度（実績）	目標値
1	野菜・花き・小豆	野菜・花き作付助成	作付面積	(2018年度) 83.46ha	(2020年度) 84.20ha
2	戦略作物 その他作物	利用権設定加算	利用権設定面積 作付面積 戦略作物 その他作物	(2018年度) 17.2ha 1,197.37ha 83.46ha	(2020年度) 20.0ha 1,217.37ha 84.20ha
3	飼料作物	生産性向上対策加算 (新植助成)	新植面積 作付面積	(2018年度) 6.4ha 1,197.37ha	(2020年度) 10.0ha 1,217.37ha
4	飼料作物	生産性向上対策加算 (更新助成)	更新実施面積 作付面積	(2018年度) 37.4ha 1,197.37ha	(2020年度) 50.0ha 1,217.37ha
5	飼料作物	飼料作物団地化加算	団地化面積 団地化率 作付面積	(2018年度) 932.5ha 65.3% 1,197.37ha	(2020年度) 989.1ha 68.5% 1,217.37ha
6	きゅうり 寒締めほうれん草	トマトにおける裏作物 の推進助成（二毛作）	作付面積	(2018年度) 7.78ha	(2020年度) 8.0ha
7	飼料作物	資源循環 (耕畜連携)	作付面積 取組面積	(2018年度) 1,197.37ha 12.7ha	(2020年度) 1,217.37ha 14.5ha
8	加工用米	加工用米作付助成	作付面積 取組面積	(2018年度) 0ha 0ha	(2020年度) 4.7ha 4.7ha
9	加工用米 飼料用米	利用権設定加算 (加工用米 ・飼料用米)	作付面積 利用権設定加算	(2018年度) 0ha 0ha	(2020年度) 4.9ha 4.9ha

※ 必要に応じて、面積に加え、当該取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内としてください。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり